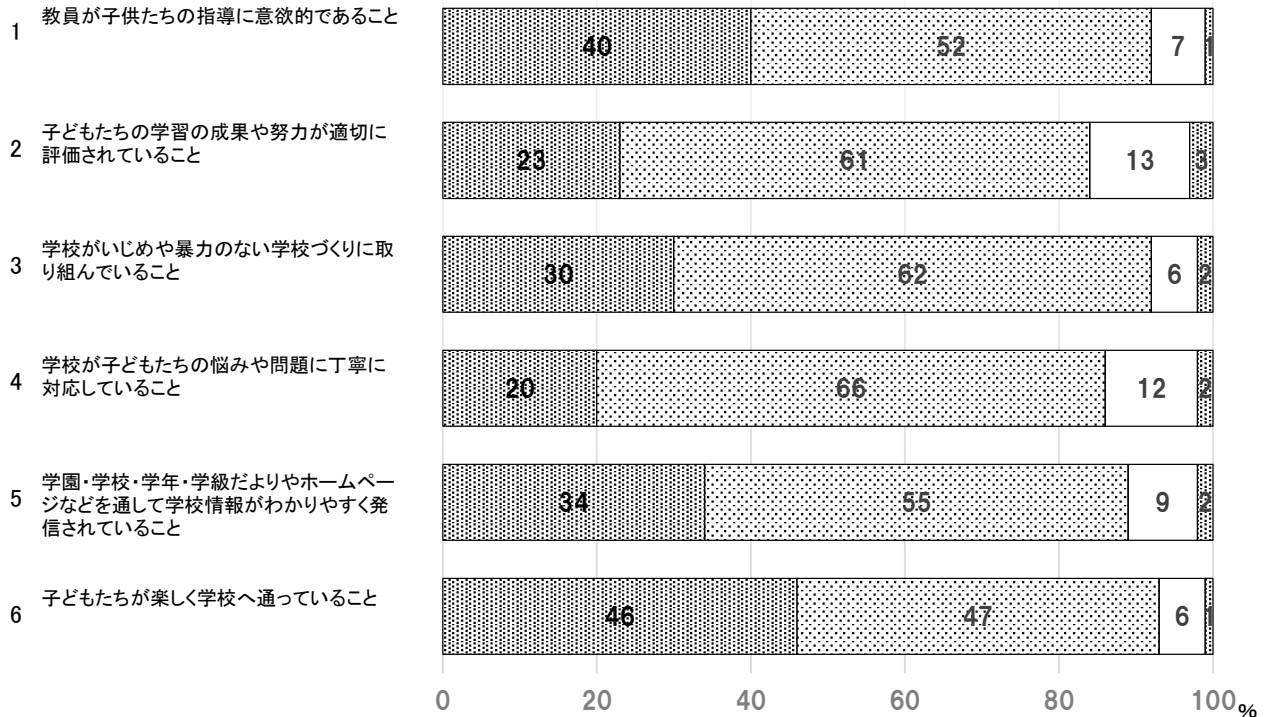


令和3年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

【第四中学校】

アンケート実施日 : 令和3年10月28日～11月5日
 アンケート対象者 : 第四中学校保護者
 回収率 : 258世帯/359世帯(72%)

よく出来ている
 大体出来ている
 あまり出来ていない
 出来ていない



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

6項目ともに肯定的な回答が80%以上だった。また、昨年度との経年変化においては、6項目中5項目で肯定的な回答の割合が上昇した。「子どもたちが楽しく学校へ通っていること」が6項目中最高の93%であったことは、コロナ禍の制限のある学校生活の中でも、授業や行事等において、時々状況を的確に捉え、工夫を凝らしながら教育活動を実施してきたことが評価されたと考える。

「教員が子供たちの指導に意欲的であること」「学校がいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいること」の肯定的な評価が92%と高い数値であったことは、めざす学校像の「一人一人の学びを保障する学校」「安心して生活を送ることができる学校」の実現に向けて、教職員の努力が一定程度評価されたものとする。

コロナ禍の状況の中でも、学びを止めることなく、子供たちに充実感や達成感を与えられるような学校を創っていきたい。

課題

全体的に肯定的な評価が多かったが、否定的な評価の実数や割合に目を向けて取り組んでいきたい。特に否定的な回答の割合が15%ほどだった「子どもたちの学習の成果や努力が適切に評価されていること」については、授業改善に取り組み、分かる授業を実践し、授業と評価の一体化を引き続き追及していく。もう一つの「学校が子どもたちの悩みや問題に丁寧に対応していること」については、小さなサインも見逃さないようにしながら、常に教員間で情報の共有し、スクールカウンセラーや外部機関とも連携しながら、子どもたち個々の悩みや問題の解決に対応できるように取り組んでいく。

全体の回答率が72%と低かったこと、無回答の方もいたことを受けて、コロナ禍において学校公開等が制限される中、学校からの情報発信(学校だより、ホームページ、タブレット配信等)を積極的に行い、本校の教育活動を保護者や地域に理解していただけるように努めていく。